

平成30年度第2回平塚市障がい福祉施策推進懇話会 議事録

1 日時・場所

日 時:平成31年1月18日(金曜日) 14:00~16:00

場 所:平塚市役所本館7階720会議室

2 出席者

参加者:橋本勢作(平塚市民生委員児童委員協議会常任理事)、片岡光枝(神奈川県平塚保健福祉事務所保健福祉部長)、出縄守英(社会福祉法人進和学園副理事長)、竹内順子(平塚市肢体不自由児者父母の会会長)、雨宮恵子(平塚地区自閉症児者親の会代表)、平沼倫枝(神奈川県立平塚養護学校教諭)、村田剛(ほっとステーション平塚施設長)、松山典子(特定非営利活動法人ひのき会理事長)、安池雅彦(NPO 法人フレッシュベルカンパニー管理者)、市川祥枝(株式会社アクアテックアクア・ケアサービス平塚管理者)

事務局:障がい福祉課 武井課長、杉崎課長代理、佐藤担当長、木村主管、長谷部主査、石垣主任
こども家庭課 久保主任

傍聴者:なし

3 議 題

平塚市障がい者福祉計画(第4期)の策定について

【事務局説明】

- (1)平塚市障がい者福祉計画(第3期)計画事業実施状況について
- (2)障がい者福祉計画の策定に伴うアンケート調査(素案)について
- (3)その他

【意見交換・質疑応答】

参加者からの主な意見等は次のとおりです。

全体について

- ・ルビはあるが障がい者の場合には一般の方に比べて読むのが難しいと思うが、ほかに配慮は行うのか。
- ・回答者の年齢が幅広いため、将来どのような生活をしたいか聞いても、年齢により背景が変わってくると思うが、細かいところまで考慮するのか。
- ・アンケート対象者の抽出条件に年齢は入れないのか。年齢により将来の住みたい場所も変わってくる。
- ・グループホームも施設の開設も含めて、障がい福祉計画に関わることなので、もう少し障がい種別を問うような分析をしてみたらどうか。
- ・知的障害の方への「将来どのように暮らしたいか」という質問について、自分の希望が何か一緒にアンケートを答える人によっても回答が変わってくる。本人は今のまま家に居たいと言うと思う。
- ・国は少しずつ脱施設と言っている。脱施設は良いが、マンパワーが足りるかななどのそれを受け入れる受け皿的なものの問題もあると思う。

- ・国は地域移行というが、本当に困る人が出てくると思う。高齢の方やグループホームの方はもう無理だから戻りたいと言う。利用したいサービスは変わり易いと思う。その時に必要なサービスを受けられるように、そこを揃えておいた方が良くと思う。一概にアンケートだけではニーズと違うと困る人が出てくる。分析してきちんとしたものを作っていかなければいけないと思う。
- ・一人で書くと家族と住みたいと言うと思うが、家族の都合もある。それをどのようにくみ取るのか。
- ・アンケートを行う目的と、市がこのアンケート結果をどのように計画に反映させようと思っているかがまだ十分に伝わってこない。
- ・用語を知っているかどうかという質問について、用語の説明があればこの時に知ってもらえると思う。
- ・今回のアンケートで前は一括されていた市役所や金融機関、郵便局への手続きなど、公的機関への用事が、銀行・郵便局と市役所や公的機関に分かれていて細かくなったと思ったが、銀行・郵便局というのはお金に関するのを聞きたくてこのような書き方をしたのであれば、金融関係と公的な用事というように分けた方が良くと思う。
- ・外出についての質問が細かすぎると思う。細かくするなら漏れの無いようにしないといけない。

18歳以上のアンケートについて

- ・問7及び問24で、同様の質問なのに、問7には世話人や介助員が回答にないのは何故か。
- ・問10と問11で、グループホームの世話人や施設従事者が入っていない。この設問はなくてこの設問はあるようなことではなく、選択肢は統一したものを使えば良いと思う。
- ・問12の1番が一般就労のことだと言うが就労という言い方で、問26については正社員や、福祉的就労という言い方をしている。この辺りももう少し統一した方が良くと思う。一般就労を使うなら一般就労だし、移行支援なら移行支援だし、もう少し統一感があつた方が良く思う。
- ・精神障がいの方だと一般就労と福祉的就労の両方を利用している方もいるので、一つだけ丸を付けるとなると困ると思う。
- ・問19や問22で、自由記述欄があるが、そこで困ったことはありますかという設問に、「ある・ない」などの選択肢があれば、文書を書けない方でも困っていることがあるということが分かると思う。
- ・問9で、医療機関とあるが、人によっては何箇所か通院されているので、そのような場合も回答できるようにしたほうが良く思う。
- ・代筆かどうかチェックはしないということで良いか。自由記入欄があるので、家族が書く場合と聞き取って書く場合では回答が違ってくると思う。
- ・アンケートの表紙の部分について、表紙は最初に目に入るので、できる範囲内で字を大きめにすると分かり易いイメージになると思う。
- ・どのようなところが日常の中で負担が大きいか聞く質問があれば良いと思った。
- ・問10の相談支援事業所の例示はいらないのではないか。

18歳未満のアンケートについて

- ・差別のことで災害のことが18歳未満のアンケートに入っていなかったように思うが何故か。子供たちが小学校や高校などに通っていて、嫌なこととかもあると思うし、18歳未満でも災害の時に困ることがあると思うので、もし可能であれば追加して欲しい。

- ・保育園と言ったり保育所と言ったり言い方が違うので統一したほうが良い。
- ・子育て支援事業所が挙げられているが、公的なものだけを聞きたいのか。地域には民間でもいろいろな支援がある。
- ・18歳未満の方が普段通っている事業所も選択肢に入れたほうが良いと思う。

一般のアンケートについて

- ・アンケートの共通した設問で、差別を受けた、いろいろ嫌な思いをしたなどがあるので、いろいろな施策は進んでいるけども、本人がつらい思いをしたことがあるという実態などを把握できると思うので、一般のアンケートでもそういうことを見たという設問があると良い。

事務局から、本日頂いた御意見を取りまとめ、次回の会議で御意見をいただく旨を説明し会議は終了した。

以 上